

特集

脊髄損傷—最近の話題

近年の脊髄損傷のリハビリテーションは、再生医療、髄腔内パクロフェン投与、機能的電気刺激、対麻痺装具などの治療医学の進歩を取り込みながら発展しています。しかし、病院の機能分化が進む現在の医療のなかでは、脊髄損傷患者はマイノリティとして入院治療やリハビリテーションに大きな制限を受けています。それとともに、脊髄損傷リハビリテーションに対する医療者側のポテンシャルや興味も低下している現状も指摘されています。本特集では、脊髄損傷治療・リハビリテーションへの啓発にも役立てるよう、最近の脊髄損傷に関するトピックスを取り上げました。

疫学 加藤真介氏ら……………289

日本脊髄障害医学会の疫学調査結果を中心にわが国の脊髄損傷の発生頻度の変遷について詳述している。現在、高齢の非骨傷性頸髄損傷が増加していること以外に、発生頻度に大きな地域差がみられることが明らかとなった。不全損傷例が多いものの、高齢のため ADL 障害は著しく、リハビリテーションや介護などの社会的負担が増大している。

慢性期脊髄損傷への再生医療応用を目指して—併用療法に関する

最近の知見を中心に 田代祥一氏ら……………295

治療反応性の低下した慢性期脊髄損傷患者への根本的治療として、細胞移植療法、薬物療法および運動療法について、最新の基礎的研究を紹介するとともに、脊髄再生医療の進歩の現状と今後の展望について解説している。今後、相乗効果を期待した移植、薬剤およびリハビリテーションの三位一体の治療が望まれる。

ニュース 「ノーマライゼーション障害者の福祉」2月号・特集目次……………293

自校外の子を指導 36%—特別支援学校の機能調査（文部科学省）……………	306
障害者ら裁判を報告、点字で訴訟した例も—弁護士ネット出版記念シンポジウム……………	314
2020 年東京パラリンピック、実施 22 競技が決定……………	339
触法障害者を支援、学会設立—司法、福祉など連携……………	347
障害児専門の保育所—療育経験者らが対応（東京・杉並で全国初）……………	358
パラリンピック、超党派議連が 2020 年向けワーキングチーム……………	358
転倒災害なくそう—福祉施設などへの指導強化（厚生労働省）……………	375

機能的電気刺激 島田洋一氏ら.....307

機能的電気刺激装置である NESS システムは医療機器として薬事法承認を受け、わが国での普及が図られている。本システムは表面電極を使用し上肢用および下肢用機器が準備されている。脊髄損傷患者における上肢の ADL 機能向上や歩行再建などの臨床効果とともに、本システムに続く新しい機能的電気刺激装置を紹介している。

性機能障害 木元康介氏ら.....315

著者の言葉を借りれば「クローゼットに隠されてきた分野」である脊髄損傷者のセクシュアリティについて、その現状と対応を詳細に述べている。男性の勃起障害、射精障害、テストステロン低下、女性の性機能障害に対して、ガイドラインに沿った治療の手順と著者の豊富な臨床経験に基づくポイントを解説している。また、性的活動における自律神経過反射への対応についても言及している。

自動車運転 吉永勝訓氏ら.....321

脊髄損傷患者では自動車運転を行うことで社会復帰を実現できることが少なくない。完全麻痺患者では一般的には C7 で自動車運転が可能であり、手関節背屈が可能となる C6B でも一部可能となる。千葉県千葉リハビリテーションセンターで実施している脊髄損傷患者の自動車運転再開への取り組みを紹介しており、手順・評価・訓練の概要は実践に役立つ内容である。

お知らせ 第 50 回日本脊髄障害医学会.....319

第 26 回日本末梢神経学会学術集会.....362

リハ栄養フォーラム 2015.....379

2015 年度近代ボバース概念小児領域 8 週間講習会.....380